

緊急連絡メール設定ガイド

緊急連絡網用.xls ファイルの概要

このファイルは、小学校での利用を想定して、1年から6年までの6学年、各学年1組から8組まで登録できるようになっています。

ワークシートには、BitMailPRO・BitplusPRO・BitSearch との連携を考えて列名が設定され、操作する為のボタンも配置されています。

各ボタンをクリックした時に必要な処理を行う為のプログラムとの関係がありますので、ワークシート名・列名等を変更したり、削除したりしないように注意してください。

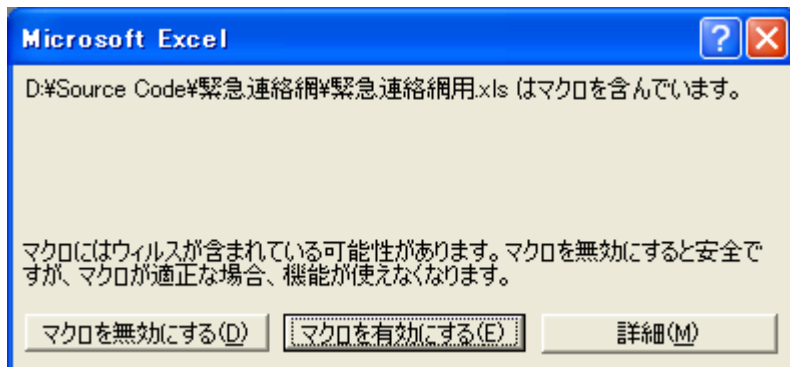
このガイドでは、緊急連絡網用.xls ファイルは、下記のフォルダにあるものとして説明しています。

C:\¥Program Files¥緊急連絡

このファイルに保護者や生徒のメールアドレスを登録しますので、個人情報漏洩しないように上記フォルダに権限のない人がアクセスできないように、アクセス制限をかけるなど適切な処置を講じてください。

1. Excel へのメールアドレスの登録・保守

緊急連絡網用.xls を起動すると、下記のダイアログが表示されます。

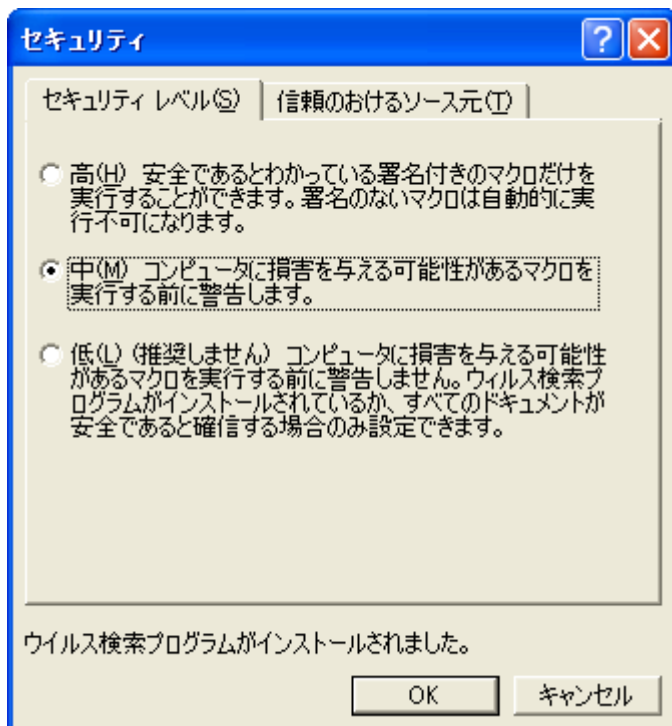


メールアドレスの保守管理を便利に行うためのプログラムを有効にするために[マクロを有効にする(E)]をクリックしてください。

[マクロを無効にする(D)]をクリックしても開くことは出来ませんが、ボタン等が無効になってしまいます。

このメッセージが表示されない場合は、Excel のメニューバーのツール(T)→マクロ(M)→セキュリティ(S)と順にクリックしてください。

次のダイアログが表示されますので、セキュリティレベルを「中」に設定し、Excel を一度閉じてから再起動してください。



ファイルが開くと[1年]から[操作ガイド]まで8つのワークシートがありますので、[設定ガイド]の説明にしたがってメールアドレス等を登録してください。

尚、ワークシートには、1行目に下表のような列名があらかじめ設定されていますので、この行は削除しないでください。同様に1列目もボタン等が配置されていますので削除しないように注意してください。

列名	説明
ID	メールを送信する為に必要ですので先頭から連番で番号をつけてください。 番号が抜けているとメールを送信できません。
送信チェック	この列が TRUE になっている行(レコード)だけにメールが送信されます。 BitMailPRO で送信後に送信チェックをクリアすると正常に送信された時は、TRUE が FALSE になります。
返信確認	BitplusPRO で返信メールを受信すると、受信した行(レコード)が、TRUE に更新されます。
名前	通常は、保護者や生徒の名前を入力しますが、万一の情報漏洩を踏まえて万全を期す場合は、名前ではなく識別コード(クラスと出席番号を組み合わせた数字等)にしておくとい良いでしょう。
EMail	携帯メールやパソコンメールのアドレスを半角で正確に入力してください。
全クラス	全組送信の処理をした際、この行(レコード)が1になっているアドレスにメールが送信されます。
1組から8組	その保護者や生徒が所属する組を1にしてください。 組別でメールを送信する際に、この行(レコード)が1になっているアドレスにメールが送信されます。
RTN1	BitSearch でリターンメール1回目のチェックをする列です。
RTN2	BitSearch でリターンメール2回目のチェックをする列です。
RTN3	BitSearch でリターンメール3回目のチェックをする列です。
返信確定	BitSearch でリターンメール4回目のチェックをする列です。

返信確定の列以降に備考等の項目を必要に応じて追加することは動作に影響しません。

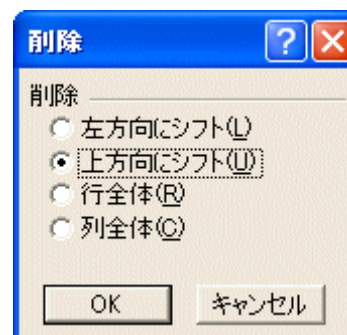
■レコード削除時の注意点

Excel のシートには、ボタンが配置されていますので、レコードを削除する場合は次の手順で行ってください。

たとえば、5行目を削除する場合ですと、先ず B5 のセルから P5 のセルまでを範囲指定してください。

次に、メニューバーの編集(E)→削除(D)を選択してください。

右のダイアログが表示されますので、上方向にシフトを選択して OK ボタンをクリックしてください。



2.BitMailPRO の設定

BitMailPRO はメールを送信するソフトウェアです。

プログラムをインストールした後、次の画面を参考に設定してください。

BitMailPRO を起動し、送信画面が表示したらツールバーの[送信設定]ボタンをクリックするか、メニューバーの設定(O)→送信設定(S)をクリックしてください。

送信設定一覧の画面が表示されますので、新規設定をクリックして設定を行ってください。

メールアカウントは、プロバイダーやサーバー管理者に確認の上、正しく入力してください。

送信設定名は、この設定を識別するためのものですから、分かりやすい名前にしておくと良いでしょう。

送信者名は、メール配信時に相手に通知されますので、受信者が分かりやすい名前を付けてください。最近、英語のスパムメールも多いので日本語をお勧めします。

SMTP AUTH は、PLAIN・LOGIN・CRAM-MD5 に対応しています。

SMTP ポート番号ならびに POP3 ポート番号は、通常は変更しないでください。

APOP の項目をチェックする必要があるかについてはサーバー管理者にご確認ください。

送信設定名

メールアカウント | データファイル | 挿入文字 | オプション | その他

送信者名

電子メールアドレス

認証方法 AUTH-PLAIN AUTH-LOGIN AUTH-CRAM-MD5
 POP before SMTP

SMTPサーバー名

アカウント名

パスワード

ポート番号 (既定値 25)

POP3サーバー名 APOP

アカウント名

パスワード

ポート番号 (既定値 110)

OK キャンセル

データファイルのタブについては、ファイルの場所が同じであれば、画面と同じに設定してください。
ワークシート名は、1年から6年までのメールアドレスを登録済みのいずれかを選択してください。

送信設定

送信設定名 緊急連絡網1年生

メールアカウント データファイル 挿入文字 オプション その他

ファイル種別 Excel97-2003(*.xl*)

ファイル名 C:\Program Files\緊急連絡網用.xls 参照

ワークシート名 1年

ID ID ※ テスト送信先選択

送信先選択 送信チェック ※ 送信除外指定

名前 名前 ※ 返信確認 不達確定

Email EMail ※

会社名

所属

役職

※ 印は必ず選択してください。

OK キャンセル

挿入文字のタブは使用しませんので何も設定する必要はありません。

送信設定

送信設定名 緊急連絡網1年生

メールアカウント データファイル 挿入文字 オプション その他

挿入文字使用数 0個 5個 10個 15個 20個

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

V0 V0

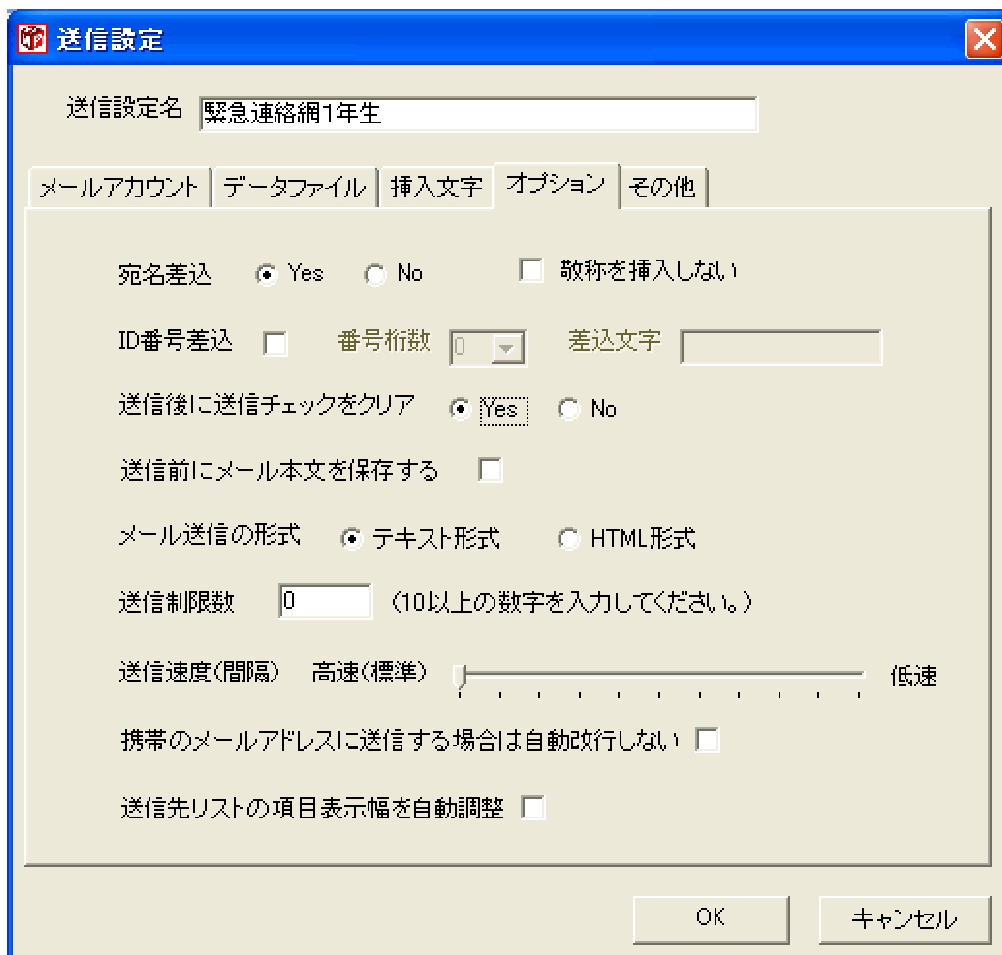
OK キャンセル

オプションのタブは、本文先頭に氏名挿入する場合は、[宛名差込]を Yes とし差し込まない場合は、No に設定してください。

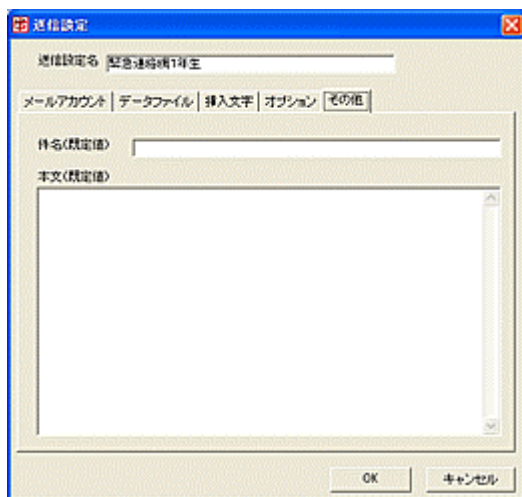
通常は、Yes で使用することをお勧めします。

さらに、[送信後に送信チェックをクリア]は、Yes としてください。

それ以外は、特に確認する必要はありません。



その他のタブについても使用しませんので、何も設定する必要はありません。



設定が終了したら[OK]ボタンをクリックすると送信設定一覧画面に戻りますので、必要な設定を同様の手順で行ってください。



3.BitplusPRO の設定

BitMailPRO で送信した連絡メールを生徒や保護者が受信したことを確認するために、メールをそのまま返信してもらいますが、そのメールを受信するソフトウェアが BitplusPRO です。
プログラムをインストールした後、次の画面を参考に設定してください。

BitplusPRO を起動した後、ツールバーの[受信メール設定]ボタンをクリックするか、メニューバーの設定(E)→受信メール設定(A)をクリックしてください。

[受信メール設定一覧]の画面が表示されますので、新規設定ボタンをクリックして[受信メール設定]の画面を開いてください。

まず、[この受信メールを有効にする]をクリックしてください。

[受信メールの件名(Subject)]は、BitMailPRO で送信したメールの件名と完全に一致するようにしてください。

[メールサーバー]タブの設定は、プロバイダーやサーバー管理者からの情報を正確に入力してください。

POP3 ポート番号は、通常変更する必要はありません。

APOP については、サーバー管理者にご確認ください。

受信メール設定

ファイル(E)

この受信メール設定を有効にする

受信メールの件名(Subject) 緊急連絡

メールサーバー | 受信モード | データベース | サブテーブル(1) | サブテーブル(2)

受信メールサーバー(POP3) *****.ac.jp

アカウント名 *****

パスワード *****

POP3ポート番号 110

APOP

OK キャンセル

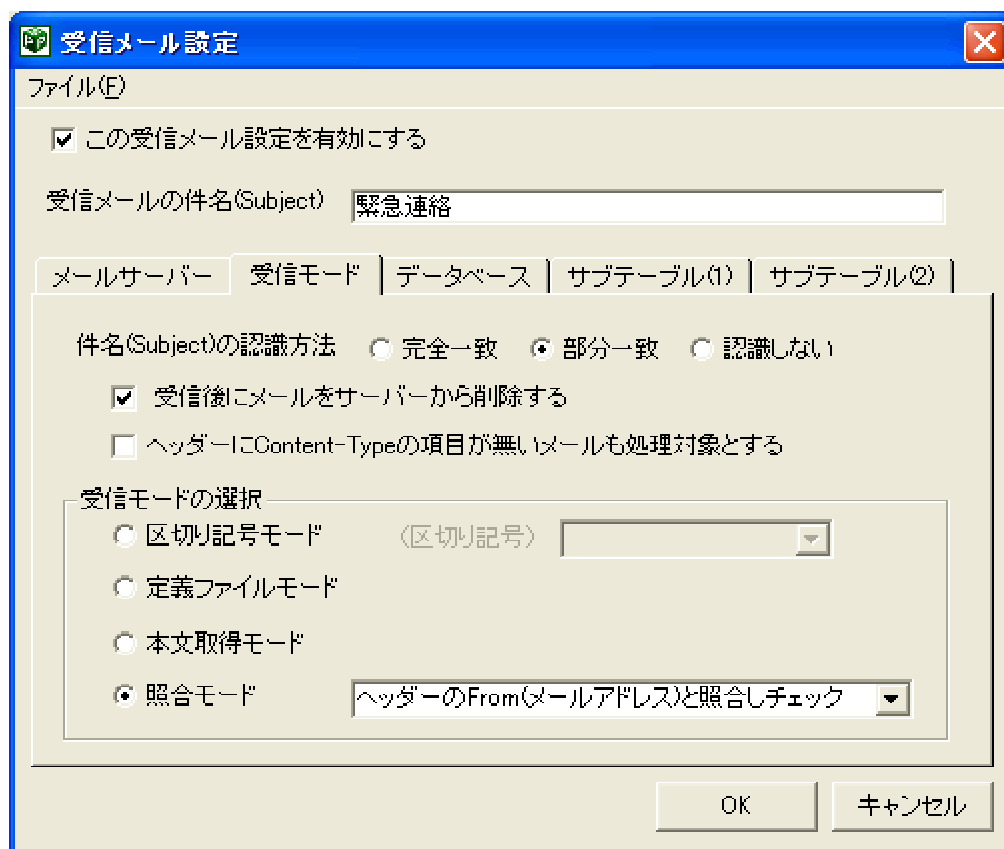
[受信モード]タブについて

[受信後にメールをサーバーから削除する]は、受信テストを行い確実にメールが受信できていることを確認した後、チェックしてください。

件名は、BitMailPRO で送信したメールをそのまま返信してもらうこととなりますので、Re 等の文字がついた状態で返信されてきます。そのため、[件名(Subject)の認識方法]は完全一致ではなく必ず部分一致を選択してください。

[受信モードの選択]では、照合モードを選択し、[ヘッダー(From)と照合しチェック]を選択してください。

これにより、返信されたメールのヘッダーからメールアドレスを取り出しデータベースと照合できるようになります。



[データベース]タブについて

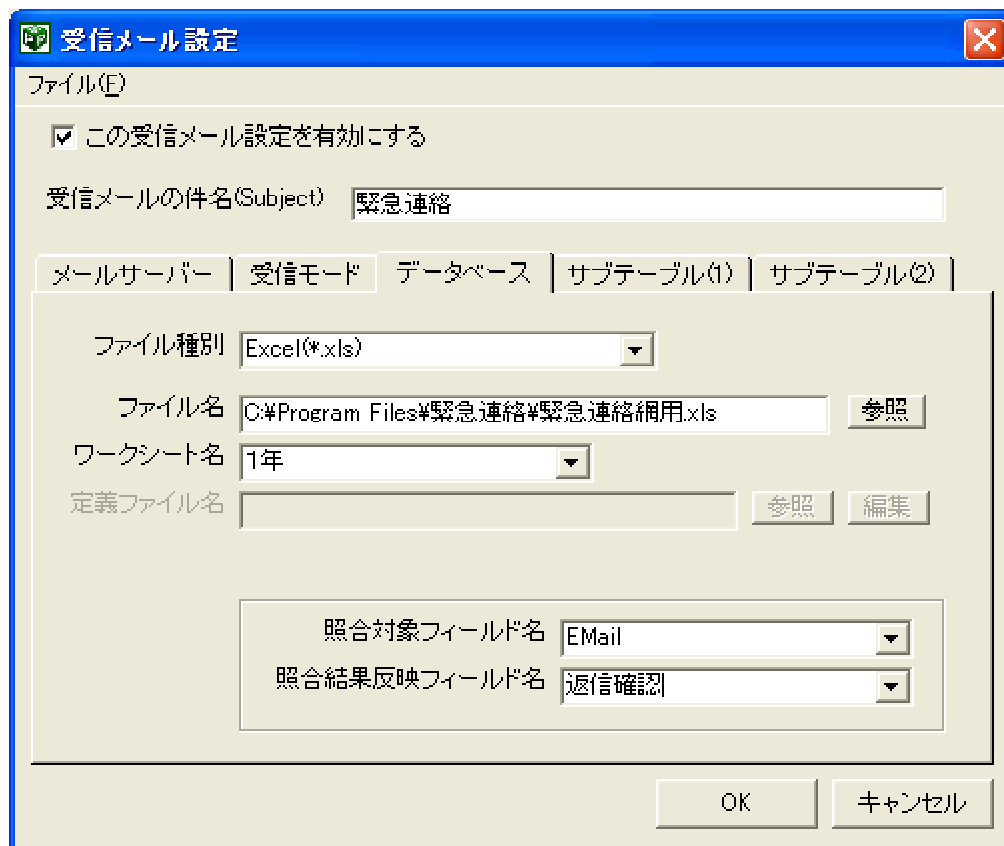
ファイル種別は、Excel(*.xls)を選択します。

ファイル名は、参照ボタンを利用して緊急連絡網用.xls を選択してください。

ワークシート名を照合する学年を1年～6年の中から指定します。

[照合対象フィールド]は、EMail を指定します。

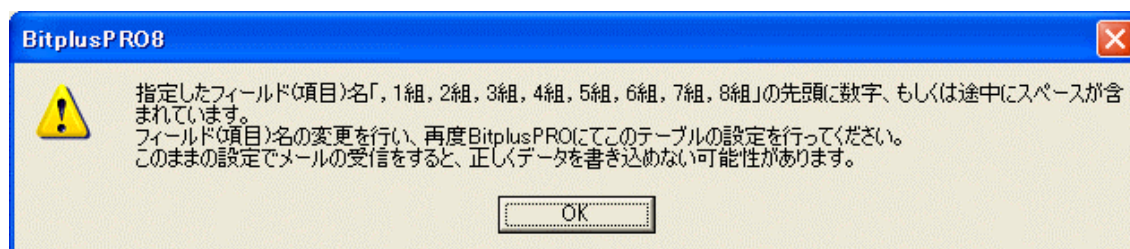
[照合結果反映フィールド]は、返信確認を指定します。



[サブテーブル(1)]と[サブテーブル(2)]は使用しませんので、なにも設定する必要はありません。

設定が終了したら、[OK]ボタンをクリックしてください。

次のメッセージが表示されますが、これは BitplusPRO が出す一般的な設定に対する警告ですが、今回の設定では問題が生じませんので、このまま[OK]ボタンをクリックしてください。



同様に受信メール設定で2年から6年まで設定してください。

4.BitSearch の設定

BitMailPRO で送信した連絡メールが、メールアドレスの間違いやサーバーのトラブル等で送信されずに戻ってることがありますが、そのメールを受信して、どのメールアドレスが戻ってきてしまったのかをチェックするソフトウェアが BitSearch です。

プログラムをインストールした後、次の画面を参考に設定してください。

BitSearch を起動し、ツールバーの[接続設定]をクリックするか、メニューバーの設定(A)→接続先設定(S)をクリックしてください。

[接続先一覧]の画面が表示されますので、[新規設定]ボタンをクリックし、[接続先設定]の画面を表示してください。

[表示名(設定名)]は、この設定を識別するためのものですので、分かりやすい名前を適当に付けてください。

[サーバー関連]タブについてはプロバイダーやサーバー管理者からの情報を正確に入力し、送信元アドレスには、BitMailPRO でメールを送信するときに使用するメールアドレスを入力してください。

仮送信先アドレスは、未入力とします。

接続先設定

表示名(設定名) 緊急連絡リターンメール

サーバー関連 | データベース | その他

受信メール(POP3) *****.ac.jp

アカウント *****

パスワード ***** APOP

POP3ポート番号 110 (既定値 110)

送信元アドレス *****@*****.ac.jp

仮送信先アドレス

OK キャンセル

[データベース]のタブは、ファイル名はお使いの環境に合わせ、ワークシート名は照合する学年を選択します。

照合対象項目(列)名は、Eメールを指定してください。

照合結果反映項目(列)名は、返信確定を指定してください。

接続先設定

表示名(設定名) 緊急連絡リターンメール

サーバー関連 データベース その他

リターンメールをデータベースと照合

ファイル種別 Excel97-2003(*.xls)

ファイル名 C:\Program Files\緊急連絡網用.xls 参照

パスワード

ワークシート名 1年

照合フィールド

照合対象	Eメール	1回目マーク	RTN1
照合結果反映	不達確定	2回目マーク	RTN2
		3回目マーク	RTN3

OK キャンセル

※ 1回目マーク、2回目マーク、3回目マークは必ずしも選択する必要がありません。

メールが届かない原因が受信者のメールボックスがいっぱいである場合や中継するサーバーの障害等でメールアドレスそのものは問題ない可能性があります。

3回届かないことがあった場合に4回目で初めて不達確定とする場合には、これらの項目を設定します。